

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

ヴァイオリン職人に伺いました

Q ヴァイオリン職人を目指したきっかけは。

A 元々モノづくりは好きでしたが、高校生の時にイタリアで活躍している有名なヴァイオリン職人の個展に行く機会があり、そのとき職人という道があると勧められました。2年間働いてお金を貯めてから東京のヴァイオリン製作学校を出てイタリアで学びました。

Q 弾くのも得意ですか。

A 実は僕は弾けません。作るのが専門です。

Q 薄暗い仕事場ですね。どうしてですか。

A 光を当てて影ができると細かい傷が見やすくなるんです。

Q 数億円するようなヴァイオリンもありますが、価格は何で決まるのですか。

A 数億円するものは骨董品的価値と美術品としての価値です。僕が作る新しいヴァイオリンも音を出せる美術品として何百年後か先にそ

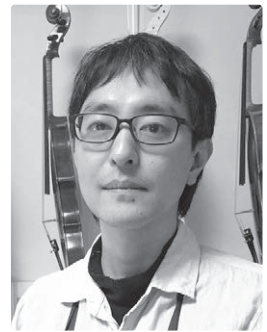
うなってくればうれしいです。

Q 全てオーダーメイドですか。

A オーダーで受けていますが、修理も多いのでお店に卸すほど数が作れません。

Q 市に一言。

A 子どもの頃からヴァイオリンに親しむきっかけがあるといいと思います。市内に指導者が少ないようですが、弾きたい人はいると思います。体験教室などがあるといいですね。楽器のメンテナンスも必要なので、継続的にやるなら協力もできます。

いけがち こうすけ
池淵 考介 さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。

市議会の会議録も見られます。

録画放映やSNS もご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



3月定例会の傍聴者は23人でした。

次の定例会の

開 会 予 定：5月30日 午前9:30～

市役所 4 階議場で開催します

請願締切予定：5月20日 午前10:00

議会広報常任委員会

委員長 鈴木 美恵	副委員長 床井 紀範
委員 田中 早苗	委員 古越 孝子
委員 川島 秀男	委員 板倉 篤
委員 民部 佳代	

表紙の題字を書ってくれた人

福岡中学校3年 栗原 みのりさん

ふじみ野



私は児童センターや公園など、子どもがたくさん遊べる場所が充実しているふじみ野市が大好きです。特に東児童センターは私が小さいころから何度も遊びに行っている思い出の場所です。

編集後記

新年度を迎え、気持ちを新たにスタートされている人も多いと思います。

今年はふじみ野市誕生20周年となり、記念事業やイベントが多数予定されています。それらの様子も盛り込みながら、議会の内容や情報を分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。

さて、市議会だよりの編集を行っている議会広報常任委員会のメンバーも今号をもって入れ替わります。

表紙の題字を書ってくれた中学校の生徒さん、また働く人シリーズや様々な企画の取材にご協力いただいた皆さん、そして読者の皆さんに改めてお礼を申し上げます。

これからも「市民と議会のパイプ役」となるよう尽力していきます。どうぞご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

(鈴木 美恵)

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されています。ご理解をお願いします。